

事業№	事業名	いみずの魅力発信事業補助金 (商工総務費)				担当部署	部名	産業経済部			
096							課名	商工観光課			
							電話	82 - 1955			
事業期間	開始年度	平成 18 年度	終了年度	-		予算科目	会計	一般会計			
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費			
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費			
	施策名(節)	第 1 節 射水ブランドの創造					目	商工総務費			
	実施計画掲載	無		個別計画							
根拠法令・要綱等											
事業目的	交付先	射水商工会議所									
	交付目的	地区内の観光資源、特に食文化を核にした「新湊地区の魅力」を県内外に発信し、地域全体の集客力を高め、幅広く地域経済の活性化につなげることを目的とする。									
事業内容	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	地域の魅力を県内外に広く発信し、新鮮な魚介類を食材にした付加価値の高い「旬の味」を提供し、リピーターの拡大や集客力を高めることにより地域経済の活性化につなげていく。また、タイアップ店(軽食店、和洋菓子店、海産物店)と共にスタンプラリーを実施する。									
補助金事業	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助			
		格差是正補助			利子補給	その他()					
	補助内容	補助区分		算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)							
		定額補助		予算の範囲内							
		定率補助									
	○ その他										
施設管理運営事業	施設名					管理形態					
						指定管理者名					
	構造・階数					指定管理期間					
	建築年度			改修年度			類似施設状況				
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況				
設備・規模											
施設等整備事業	総事業費			財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度					
その他	特記事項等										

事業 №	96	事 務 事業名	いみずの魅力発信事業補助金	担当課	商工観光課
---------	----	------------	---------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	利用者数 設定できる場合 (参加者数)	人	4,595	8,000	9,708	121.4	9,000
	参加店舗数	店舗	29	80	98	122.5	90

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補 助 金 等 交 付 額)	1,000 千円	1,000 千円	0.0	1,000 千円
	(補 助 金 等 交 付 件 数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	1,237 千円	1,233 千円	▲ 0.4	1,233 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	1,237 千円	1,233 千円	▲ 0.4	1,233 千円
財源 内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.0	0.03 人
	利 用 者 1 人 当 た り コ ス ト	0.27 千円	0.13 千円	▲ 52.8	
	うち一般財源ベース分	0.27 千円	0.13 千円	▲ 52.8	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	いみずの食材を使用した特別料理を提供し、市内外に発信することは大変重要である。
有 効 性	4	市内飲食店の創意あふれる料理が提供される機会が増えることから、活性化につながり、有効である。
効 率 性	4	商工会議所と参加事業者とが連携し、事業を推進している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
本市の情報発信及び活性化に有効であるため、現行どおりとしたい。					

事業№	事業名	射水ブランド商品開発等支援補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(ブランド化推進事業費)					課名	商工観光課
097							電話	82 - 1958
事業期間		開始年度	平成 23 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 1 節 射水ブランドの創造					目	商工総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	地域資源を活用した商品を開発・販売する事業者やまちづくり団体等					
	意図	交付目的	地域資源を活用した新商品の開発及び販路を拡大し、本市の活性化及び新たな射水ブランドの構築を図る					
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	・農商工連携取組商品(トラフグ、ヘチマ、キララカ梨等)、かけ中、シロエビ、すり身等を活用した、ご当地グルメやB級グルメの開発 ・物産展やイベント等に出展し実証販売等調査研究 ・市内での提供事業者の拡大促進					

補助金事業	類型区分		団体運営費補助	○	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助
			格差是正補助		利子補給		その他()		
	補助内容	補助区分		算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					
			定額補助	・助成金の額は、補助対象経費の50%以下とし、200千円を上限					
		○	定率補助						
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数						指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		

その他	特記事項等							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

事業 №	97	事 務 事業名	射水ブランド商品開発等支援補助金	担当課	商工観光課
---------	----	------------	------------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	商品開発件数	件	2	2	1	50.0	2

事業費			平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・人件費	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	千円	200 千円	皆増	400 千円
		(補助金等交付件数)	(件)	(1 件)	皆増	(2 件)
		正規職員人件費相当額	千円	204 千円	皆増	204 千円
		退職手当引当金相当額	千円	29 千円	皆増	29 千円
		事業コスト計	千円	433 千円	皆増	633 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
		そ の 他	千円	千円		千円
		一 般 財 源	千円	433 千円	皆増	633 千円
当 従 事 職 員 数	正 規 職 員	人	0.03 人	皆増	0.03 人	
	利用者1人当たりコスト	-	-			
	うち一般財源ベース分	-	-			

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	射水ブランドとして優良な資源である「きららか梨」の関連商品の開発や販路開拓に取り組みが行われており、次年度以降も同様の取組みが期待できる。
有 効 性	3	本事業を活用して開発された商品が地元業者により販売されており、販路拡大等今後の展開に期待がもてる
効 率 性	3	参画事業者による負担金等もあり、市補助金は事業費の一部の支援となっている

評価結果 (1 次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2 次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
新たな商品開発と販路拡大には経費もかかることから、事業費の一部を支援することは必要である。					